

2024 年度

事業報告書

活水学院

長崎市東山手町 1-50

1. 法人の概要

(1) 基本情報

学校法人 活水学院

長崎県長崎市東山手町 1 番 50 号

電話番号 095-822-4107 F A X 番号 095-828-3702

アドレス <https://www.kwassui.ac.jp>

(2) 建学の精神

活水学院は明治 12 年（1879）12 月 1 日、米国メソジスト監督教会婦人外国伝道協会派遣のエリザベス・ラッセル宣教師により、同協会の精神的、財的支援の下に、長崎市東山手に創設された。当時ラッセル宣教師は齢既に 40 を越え、最初の学生はただ 1 人であったが、遠大なる信仰と渝らざる愛とを以て、学院を開始されたのである。

「日本において婦人が高等の教育を修得し得ることを証し、いかなる場に立ってもただに婦人としてのみでなく、同時に“人”としての尊敬をうけるにふさわしい高潔な基督者の心情をもって、教育に、宣教に、さらにクリスチャンホームの形成に、指導者としての責任をもつことが出来、尚かつ、経済的独立の能力を具え自らを正しく保持しうるクリスチャン女性の養成を期す」ことが明治のはじめに単身日本の地にたたれたラッセル宣教師の主イエス・キリストにある不拔の信念であり祈りであった。

校名『活水』はヨハネによる福音書第 4 章第 14 節に由来する。この聖句は創設者ラッセル宣教師が特に強調されたもので、ラッセル宣教師は常に「知恵と生命との泉―主イエス・キリスト―に掬(むす)べよ」と教えられた。実にイエス・キリストにある日本女性の教育こそ活水精神の根元であって創立以来この精神は、歴代の院長、校長をはじめすべての活水人によって継承されてきたものである。

本学院の教育に参加するすべての者は、よくその真意を体して学院創設の目的達成に誠実をつくすことを誓うべきである。

(3) 学校法人の沿革

1879 年（明治 12 年）	エリザベス・ラッセル宣教師、活水女学校を創立する。
1887 年（明治 20 年）	活水女学校に初等科・中等科・高等科・神学科・音楽科・技芸部をおき、中学校から大学までの教育課程を整備する。
1919 年（大正 8 年）	活水女学校大学部を改組し、専門学校令により活水女子専門学校を設置し英文科をおく。
1922 年（大正 11 年）	活水女学校専門部に家政科をおく。
1947 年（昭和 22 年）	新学制により、活水中学校が設置される。
1948 年（昭和 23 年）	新学制により、活水高等学校が設置される。

1950 年（昭和 25 年）	新学制により、活水女子短期大学を設置し、英文科・家政科・音楽科をおく。
1951 年（昭和 26 年）	中学校・高等学校は竹の久保町（現・宝栄町）に校舎を移転。
1977 年（昭和 52 年）	活水女子短期大学に日本文学科を設置。
1979 年（昭和 54 年）	創立 100 周年記念式典・行事を行う。「活水百年史」を刊行。高等学校に「普通科音楽コース」を設置。
1981 年（昭和 56 年）	活水女子大学（文学部）を設置し、文学部に英文学科・日本文学科をおく。
1991 年（平成 3 年）	大学院を設置し、文学研究科英文学専攻修士課程をおく。
1994 年（平成 6 年）	大学音楽学部を設置。
1998 年（平成 10 年）	短期大学に専攻科食物栄養専攻（2 年制）を開設。 大学文学部に人間関係学科を設置。
1999 年（平成 11 年）	創立 120 周年記念式典・行事を行う。ラッセル女史の生涯を描いた映画「わが心に刻まれし乙女たちを」（文部科学省選定）を制作。
2001 年（平成 13 年）	改組により、大学文学部日本文学科が現代日本文化学科に、音楽学部は演奏学科・応用音楽学科の 2 学科になる。
2002 年（平成 14 年）	大学健康生活学部 食生活健康学科を設置。
2003 年（平成 15 年）	高等学校に「英語科」「普通科・国公立進学コース」を新設。
2004 年（平成 16 年）	創立 125 周年記念式典・行事を行う。 大学健康生活学部 生活デザイン学科・子ども学科を設置。
2005 年（平成 17 年）	活水女子短期大学閉学。
2009 年（平成 21 年）	大学に看護学部を設置し、看護学科をおく。 創立 130 周年記念式典・行事を行う。
2010 年（平成 22 年）	大学音楽学部 音楽学科を設置。
2018 年（平成 30 年）	大学文学部を国際文化学部へ、現代日本文化学科を日本文化学科へ名称変更。
2019 年（令和元年）	創立 140 周年記念式典・行事を行う。
2020 年（令和 2 年）	新戸町キャンパス 1 号館、2 号館閉鎖。 大学文学部 人間関係学科廃止。
2024 年（令和 6 年）	大学国際文化学部 国際文化学科を設置。 高等学校「英語科」「普通科・特別進学コース」「普通科・総合進学コース」を「普通科」に変更。2 年次から「普通科・グローバル探求コース」「普通科・ミライ探究コース」を選択。

(4) 設置する学校・学部・学科・系列校等

(2024 年 4 月現在)

[illegible]

(5) 学校、学部、系列校の学生数等の状況

(2024 年 5 月 1 日現在)

学校・学部名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
活水女子大学	国際文化学部	70	43	310	183
	音楽学部	0	0	105	41
	健康生活学部	140	91	560	409
	看護学部	75	67	300	263
活水女子大学大学院	文学研究科	6	0	12	1
活水高等学校	普通科	120	95	440	300
活水中学校		60	16	180	54

(6) 収容定員充足率

(2024 年 5 月 1 日現在)

学校名	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
活水女子大学	0.84	0.83	0.82	0.75	0.70
活水女子大学大学院	0.17	0.08	0.08	0.08	0.08
活水高等学校	0.75	0.77	0.74	0.71	0.68
活水中学校	0.47	0.42	0.39	0.33	0.30

(7) 役員の概要

- ・定員数、役員の氏名、就任年月日、常勤・非常勤の別、主な現職等

定員数（理事定数 9 名又は 10 名・監事定数 2 名）

(2024 年 6 月現在)

番号	役職	氏 名	就任年月日	常勤・ 非常勤の別	主な現職等
1	理事長	湯口 隆司	2011. 4. 1	常勤	活水学院院長
2	理事	広瀬 訓	2023. 4. 1	常勤	活水女子大学学長
3	理事	石村 直義	2024. 4. 1	常勤	活水高等学校・活水中学校校長
4	理事	崔 炳一	2018. 4. 1	常勤	活水学院宗教主任、活水女子大学教授
5	理事	稲田 祐章	2021. 12. 1	常勤	活水学院事務局長
6	理事	森 恵子	2014. 2. 1	非常勤	前活水同窓会会長、一般社団法人トランキラ理事
7	理事	朝長 万左男	2015. 12. 14	非常勤	純心聖母会恵の丘長崎原爆ホーム診療所長
8	理事	浅野 直人	2022. 2. 1	非常勤	福岡大学名誉教授
9	理事	深澤 奨	2017. 5. 24	非常勤	日本基督教団佐世保教会牧師
1	監事	東 直美	2022. 6. 1	非常勤	東公認会計士・税理士事務所
2	監事	山永 薫	2022. 6. 1	非常勤	日本キリスト教会長崎教会委員

・責任限定契約

理事及び監事については、私立学校法に基づき学校法人活水学院寄附行為 第 4 1 条が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第 1 1 5 条に定められた損害賠償責任の限定に関し、在任する期間について、契約を締結。

・役員賠償責任保険契約の状況

保険名称：会社役員賠償責任保険

保険期間：2024（令和 6）年 4 月 1 日 ～ 2025（令和 7）年 4 月 1 日

保険期間内総支払限度額：5 億円

保険取扱：東京海上日動火災保険株式会社

(8) 評議員の概要

- ・定員数、評議員の氏名、就任年月日、主な現職等

定員数（評議員定数 21 名）（2024 年 6 月現在）

番号	職名	氏 名	就任年月日	主な現職等
1	評議員	堀地 正弘	2022. 2. 1	日本基督教団長崎平和記念教会牧師
2	評議員	浅場 知毅	2020. 2. 1	日本基督教団長崎古町教会牧師
3	評議員	下村 千枝子	2023. 6. 19	NPO 法人らいぶながさき理事
4	評議員	野田 定延	2022. 2. 1	活水高等学校・活水中学校副校長
5	評議員	黄 大衛	2022. 2. 1	日本福音ルーテル長崎教会牧師
6	評議員	三河 悠希子	2018. 2. 1	活水高等学校・活水中学校宗教主任
7	評議員	森永 玲	2022. 2. 1	長崎新聞社取締役メディアビジネス局長
8	評議員	朝長 万左男	2015. 12. 14	純心聖母会恵の丘長崎原爆ホーム診療所長
9	評議員	川原 麻理	2016. 2. 1	活水同窓会副会長
10	評議員	小笹山 美紀	2024. 2. 1	デイサービスセンター本河内
11	評議員	永吉 美恵子	2016. 2. 1	活水同窓会会長、活水女子大学名誉教授
12	評議員	崔 炳一	2016. 2. 1	活水学院宗教主任、活水女子大学教授
13	評議員	岩瀬 貴子	2022. 2. 1	活水女子大学教授
14	評議員	狩野 暁洋	2022. 2. 1	活水女子大学教授
15	評議員	細井 浩志	2020. 2. 1	活水女子大学教授
16	評議員	常泉 晶子	2024. 5. 27	活水高等学校・活水中学校教諭
17	評議員	岡山 正文	2021. 5. 24	活水女子大学教務課長兼入試課長
18	評議員	全 炳徳	2022. 2. 1	活水女子大学父母会会長、 長崎大学情報データ科学部教授
19	評議員	山田 充美	2023. 5. 15	活水女子大学父母会副会長、ALSOK 長崎株式会社
20	評議員	倉田 真知子	2024. 2. 1	活水高等学校・活水中学校 PTA 事業委員、自営業
21	評議員	分部 高	2024. 2. 1	活水高等学校・活水中学校 PTA 事業委員、自営業

(9) 教職員の概要

- ・教職員の本務・兼務別の人数、平均年齢

2024 年 5 月 1 日現在

学校・学部等名		人数	平均年齢
活水学院	法人		

	本務職員	5	58.2
	兼務職員	0	—
活水女子大学	国際文化学部		
	本務教員	26	54.9
	兼務教員	17	—
	本務職員	20	51.2
	兼務職員	1	—
	音楽学部		
	本務教員	5	44.6
	兼務教員	14	—
	本務職員	3	55.3
	兼務職員	0	—
	健康生活学部		
	本務教員	32	53.4
	兼務教員	40	—
	本務職員	25	42.6
	兼務職員	1	—
	看護学部		
	本務教員	23	54.4
	兼務教員	48	—
	本務職員	17	44.1
	兼務職員	16	—

(10) その他

・系列校の状況

教職員の本務・兼務別の人数、平均年齢等

2024年5月1日現在

学校名		人数	平均年齢
活水高等学校	本務教員	25	48.2
	兼務教員	20	—
	本務職員	8	48.8
	兼務職員	0	—
活水中学校	本務教員	5	40.8
	兼務教員	5	—
	本務職員	1	51.0

	兼務職員	0	—
--	------	---	---

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

- ・「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」

活水女子大学の教育目的

本学は、キリスト教主義に基づき、教育基本法並びに学校教育法の定めるところに準拠して、女子に対し高等教育を行うことを目的とする。

この目的を達成するため、生涯教育の展望に立ちつつ、国際的視野を有する広い教養と高度の専門的知識を涵養し、もって地域並びに人類社会の福祉と発展に寄与しうる人間の育成を期する。

これに則り、活水女子大学が教育目的としているものは、以下の通りです。

1. キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。
2. 自らの主体性を発揮し、他者と協働して、課題に取り組む姿勢を養う。
3. 生涯にわたって学び、地域社会・国際社会の発展に貢献できる人間を育てる。
4. 豊かな教養と高度な専門性を備える職業人・社会人を育てる。
5. 個人の尊厳を重んじ、平和で民主的な社会の担い手を育てる。

学位授与の方針

活水女子大学は、本学の建学の精神と教育目的をふまえ、学部・学科の定める教育目標に沿って学び、次のような能力を身につけた者に対して、学士の学位を授与します。

1. (建学の精神) キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。
2. (人間としての尊厳) 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。
3. (職業人) 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。
4. (広い視野に立つ社会人) 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。

教育課程編成・実施の方針

活水女子大学は、本学の建学の精神と教育目的をふまえ、それらを達成するために以下のような方針でカリキュラムを編成します。

1. （建学の精神と教育目的に関する科目） キリスト教主義に基づく世界観、人間観を理解し、社会に積極的に関わり貢献することの意義を学ぶ科目を、必修として配置する。
2. （教養教育科目） 人類の歩みにおける英知の蓄積に学び、幅広い教養を身につけ、人間理解を深める科目を、配置する。
3. （専門教育科目） 本学の建学の精神と教育目的をふまえて各学部・学科が定める個々の教育目標を達成するために必要な専門教育科目を、基礎的なものから高度なものや実践・応用的なものへと、段階的・体系的に配置する。
4. （卒業論文・卒業制作） 本学での学びの成果をまとめ、卒業後さらに学び続け、社会での実践や応用に結び付けるための能力を確実に身につけるために、卒業論文・卒業制作に関わる科目を配置する。
5. （資格取得科目） 資格取得のために必要とされる、法令や基準に適合した科目を、配置する。

入学者受け入れの方針

活水女子大学は、本学の建学の精神と教育目的を理解し、本学での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、学習意欲を持ち、中等教育までの学びによる基礎的能力を持つ者を、選抜します。

中学高校の教育方針

教育方針六項目

- 1 神を畏れる敬虔な心を養う
- 2 学問の尊重
- 3 愛と奉仕の精神
- 4 精神と身体のかさ
- 5 常識ある判断力
- 6 国際的な感覚を養う

目指す生徒の育成像

自らが“幸せ”になるために学んだことを活用し、周りの人や社会の“幸せ”のために貢献できる女性

キャッチコピー

わたし、輝く。ともに、輝く。

生徒に身につけさせたい資質・能力

- 1 敬虔さ・自己肯定感・分かち合う姿勢
- 2 知力・学力、自己実現力、変化への対応力
- 3 思考力、判断力、表現力
- 4 協働力、思いやり、規律性

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

本学院は、「学校法人活水学院中期計画（2022（令和4）年度－2026（令和8）年度）」を策定し、実行している。

【教学】

大学

目標	進捗・達成状況																																						
学部学科の改組	2024 年度国際文化学部国際文化学科設置																																						
入学定員充足率 100%	入学定員充足率の推移 <table><tr><th>年度</th><th>大学院</th><th>大学</th></tr><tr><td>2021</td><td>0</td><td>0.75</td></tr><tr><td>2022</td><td>0</td><td>0.71</td></tr><tr><td>2023</td><td>0</td><td>0.68</td></tr><tr><td>2024</td><td>0</td><td>0.71</td></tr><tr><td>2025</td><td>0</td><td>0.71</td></tr></table> [2025 年度入学者の入学定員確保のための具体的な取組] 以下のとおり入試広報活動を行ったが、入学定員確保までには至らなかった。 1 活水高等学校との高大連携による広報活動（2 年生対象出前講義及び学年ごとの学科説明会等）の実施、オープンスクールへの参加 2 高等学校への大学案内、各学科チラシの送付及び設置依頼 3 各メディアを利用しての本学の情報発信 4 高校訪問の実施 5 進学説明会への積極的な参加 6 オープンキャンパス及び、進学相談会（12 月、3 月）の実施 7 Instagram や YouTube での情報配信 <tr><td>実就職率 100%</td><td> 実就職率の推移 <table><tr><th>年度</th><th>大学院</th><th>大学</th></tr><tr><td>2020</td><td>1</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2021</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2022</td><td>—</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2023</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2024</td><td>1</td><td>0.93</td></tr></table> *学校基本調査の集計に基づく [2024 年度の具体的な取組] 実就職率の 100%に向けて、従来 3 年生後期から開始していた就職準備ガイダンス、エントリーシート添削、就職面接トレーニング、インターンシップ、各業界セミナーなどを 3 年前期より実施した。ガイダンス等の学生満足度も 5 点満点で平均 4.6 と概ね好評であった。卒業後の進路については、従前コロナ禍により在学中に留学ができず、卒業後ワーキングホリデーを希望する学生が増加傾向にあったが、海外留学も再開したことからワーキングホリデーを希望する学生も減少傾向にあり、就職意思がない学生数は </td></tr>	年度	大学院	大学	2021	0	0.75	2022	0	0.71	2023	0	0.68	2024	0	0.71	2025	0	0.71	実就職率 100%	実就職率の推移 <table><tr><th>年度</th><th>大学院</th><th>大学</th></tr><tr><td>2020</td><td>1</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2021</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2022</td><td>—</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2023</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2024</td><td>1</td><td>0.93</td></tr></table> *学校基本調査の集計に基づく [2024 年度の具体的な取組] 実就職率の 100%に向けて、従来 3 年生後期から開始していた就職準備ガイダンス、エントリーシート添削、就職面接トレーニング、インターンシップ、各業界セミナーなどを 3 年前期より実施した。ガイダンス等の学生満足度も 5 点満点で平均 4.6 と概ね好評であった。卒業後の進路については、従前コロナ禍により在学中に留学ができず、卒業後ワーキングホリデーを希望する学生が増加傾向にあったが、海外留学も再開したことからワーキングホリデーを希望する学生も減少傾向にあり、就職意思がない学生数は	年度	大学院	大学	2020	1	0.87	2021	—	0.89	2022	—	0.87	2023	—	0.89	2024	1	0.93
年度	大学院	大学																																					
2021	0	0.75																																					
2022	0	0.71																																					
2023	0	0.68																																					
2024	0	0.71																																					
2025	0	0.71																																					
実就職率 100%	実就職率の推移 <table><tr><th>年度</th><th>大学院</th><th>大学</th></tr><tr><td>2020</td><td>1</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2021</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2022</td><td>—</td><td>0.87</td></tr><tr><td>2023</td><td>—</td><td>0.89</td></tr><tr><td>2024</td><td>1</td><td>0.93</td></tr></table> *学校基本調査の集計に基づく [2024 年度の具体的な取組] 実就職率の 100%に向けて、従来 3 年生後期から開始していた就職準備ガイダンス、エントリーシート添削、就職面接トレーニング、インターンシップ、各業界セミナーなどを 3 年前期より実施した。ガイダンス等の学生満足度も 5 点満点で平均 4.6 と概ね好評であった。卒業後の進路については、従前コロナ禍により在学中に留学ができず、卒業後ワーキングホリデーを希望する学生が増加傾向にあったが、海外留学も再開したことからワーキングホリデーを希望する学生も減少傾向にあり、就職意思がない学生数は	年度	大学院	大学	2020	1	0.87	2021	—	0.89	2022	—	0.87	2023	—	0.89	2024	1	0.93																				
年度	大学院	大学																																					
2020	1	0.87																																					
2021	—	0.89																																					
2022	—	0.87																																					
2023	—	0.89																																					
2024	1	0.93																																					

	若干減少傾向にある。その結果、実就職率は、就職環境が売り手市場という背景もあり、昨年度を 3.9 ポイント上回った。																								
自立した職業人の育成	国家試験の合格率推移 (単位:%) <table><tr><td>年度</td><td>管理栄養士</td><td>看護師</td><td>保健師</td></tr><tr><td>2020</td><td>91.3</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>2021</td><td>89.6</td><td>98.5</td><td>100</td></tr><tr><td>2022</td><td>86.0</td><td>98.7</td><td>100</td></tr><tr><td>2023</td><td>69.2</td><td>98.5</td><td>100</td></tr><tr><td>2024</td><td>69.7</td><td>98.4</td><td>100</td></tr></table>	年度	管理栄養士	看護師	保健師	2020	91.3	100	100	2021	89.6	98.5	100	2022	86.0	98.7	100	2023	69.2	98.5	100	2024	69.7	98.4	100
	年度	管理栄養士	看護師	保健師																					
	2020	91.3	100	100																					
	2021	89.6	98.5	100																					
	2022	86.0	98.7	100																					
	2023	69.2	98.5	100																					
	2024	69.7	98.4	100																					
中学高校																									
目標	進捗・達成状況																								
高校の科・コースの再編	2024 年度から高校の科・コースの再編を実施																								
高校入学定員充足率 100%	入学定員充足率の推移 <table><tr><td>年度</td><td>中学校</td><td>高校</td></tr><tr><td>2021</td><td>0.33</td><td>0.85</td></tr><tr><td>2022</td><td>0.42</td><td>0.65</td></tr><tr><td>2023</td><td>0.27</td><td>0.69</td></tr><tr><td>2024</td><td>0.27</td><td>0.68</td></tr><tr><td>2025</td><td>0.27</td><td>0.79</td></tr></table> [2025 年度入学者の入学定員確保のための具体的な取組] 1 学校紹介の TV 番組作成「私学☆キラリ」 2 日常の学校生活Instagram配信 3 ホームページの更新、ポスター作成 4 入学願書受付のCM放映 5 市内電車の広告	年度	中学校	高校	2021	0.33	0.85	2022	0.42	0.65	2023	0.27	0.69	2024	0.27	0.68	2025	0.27	0.79						
	年度	中学校	高校																						
	2021	0.33	0.85																						
	2022	0.42	0.65																						
	2023	0.27	0.69																						
	2024	0.27	0.68																						
	2025	0.27	0.79																						
高学力生徒の志望者増加を目指す	2024 年度から特別奨学生制度の見直し																								
	学業 SS：授業料全額給付＋施設設備費全額免除＋奨学金 毎月 1 万円給付																								
	学業 S：授業料全額給付＋施設設備費全額免除																								
	学業 A：授業料全額給付																								
	学業 B：授業料半額給付																								
	学業特別奨学生入学者数の推移 <table><tr><td>年度</td><td>SS</td><td>S</td><td>A</td><td>B</td></tr><tr><td>2024</td><td>0</td><td>0</td><td>12</td><td>7</td></tr><tr><td>2025</td><td>0</td><td>0</td><td>26</td><td>1</td></tr></table>	年度	SS	S	A	B	2024	0	0	12	7	2025	0	0	26	1									
	年度	SS	S	A	B																				
2024	0	0	12	7																					
2025	0	0	26	1																					
活水高校卒業生の進学先満足度 95%以上	最終決定進路について <table><tr><td>満足</td><td>92.0%</td></tr><tr><td>やや満足</td><td>7.0%</td></tr><tr><td>やや不満</td><td>1.0%</td></tr><tr><td>不満</td><td>0.0%</td></tr></table> *2024 高Ⅲ進路部アンケート結果より 進学先満足度は 99.0%である。 [2024 年度の具体的な取組] 1 生徒一人ひとりの進路希望に寄り添った指導 2 課外授業、小論文指導、校外模試など進路実現に向けた取組 3 面接指導における全教員の分担体制の整備 4 外部学習教材導入の検討	満足	92.0%	やや満足	7.0%	やや不満	1.0%	不満	0.0%																
	満足	92.0%																							
	やや満足	7.0%																							
	やや不満	1.0%																							
	不満	0.0%																							

【人事】

年度	専任教職員数（計画）	専任教職員数（現員）
2022	200	197
2023	196	195
2024	190	196
2025	195	
2026	196	

【施設】

大学

年度	工事名（計画）	工事名（実施）
2023	東山手本館・2号館LED取替工事 教室AV機器取替更新 東山手1号館市水受水槽新設 IECポンプ更新工事 出島道路被覆樹木剪定工事 東山手体育館トイレ工事 東山手体育館外壁防水工事 他	東山手本館・2号館LED取替工事 教室AV機器取替更新 東山手1号館市水受水槽新設 IECポンプ更新工事 出島道路被覆樹木剪定工事 東山手体育館トイレ・シャワー室改修工事 東山手体育館外壁防水工事 大村シミュレーションルームの床張り替え 大村エレベーターメインロープ等の入替工事 他
2024	東山手教室AV機器取替更新 東山手本館消火屋外配管敷設替工事 大村施設環境整備 他	東山手本館消火配管布設替工事 東山手4号館学生食堂リニューアルに伴う工事及び備品導入 東山手5号館玄関アーケード修繕工事 大村大チャペル用空調機整備工事 大村小児（幼児）身体診察シミュレーター導入 大村成人・老年・精神看護学実習室ベッド導入 他
2025	東山手4・5号館・体育館照明器具LED取替工事（市補助金予定案件） 東山手4号館クーリングタワー取替更新 東山手教室AV機器取替更新 他	
2026	東山手1号館エレベータ改修工事 東山手教室AV機器取替更新 他	
2027	東山手大チャペル冷暖房機器取替更新工事 東山手教室AV機器取替更新 他	

中学高校

年度	工事名（計画）	工事名（実施）
2022	中高2号館照明器具LED取替工事 中高ICT推進事業（電子黒板設置等 ※1/2 補助金案件） プレゼンルームプロジェクター交換工事 他	中高2号館照明器具LED取替工事 中高ICT推進事業（電子黒板設置等） プレゼンルームプロジェクター交換工事
2023	グラウンドフェンス改修工事 3号館照明器具LED取替工事 他	小体育館窓改修工事 中高ICT推進事業（電子黒板設置等）
2024	5号館照明器具LED取替工事 他	3号館玄関屋根防水工事
2025	4号館GHPエアコン入替工事 教室ロッカー入替 他	
2026	電気設備 変圧器取替工事 職員室・事務室コピー機取替工事 他	

【財政計画】

財政目標 1「教育活動資金収支差額」を 2023 年度を除き黒字化する。

財政目標 2「経常収支差額」を最終年度（2026）までに黒字化する。

財政目標 3 最終年度（2026）の*運用資産から借入金残高を除いた額を 8 億円以上とする。

*運用資産＝現金預金+特定資産+有価証券

（単位：千円）

年度	決算 計画	財務目標 1 教育活動資金収支差額	財務目標 2 経常収支差額	財務目標 3 運用資産－借入金残高
2022	決算 計画	△35,086 2,521	△278,675 △288,337	701,951 671,801
2023	決算 計画	△151,667 △3,271	△372,381 △251,519	489,185 589,792
2024	決算 計画	△253,686 8,940	△465,667 △211,212	191,080 510,453
2025	決算 計画	111,128	△85,138	540,580
2026	決算 計画	192,603	11,287	780,306

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

（単位：千円）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
固定資産	9,600,755	9,376,841	9,021,266	8,667,104	8,171,531
流動資産	723,658	765,872	828,356	641,822	561,702
資産の部合計	10,324,413	10,142,713	9,849,622	9,307,968	8,733,233
固定負債	1,306,743	1,269,040	1,207,408	1,144,971	1,081,908
流動負債	298,862	416,449	459,007	350,778	306,343
負債の部合計	1,605,605	1,685,489	1,666,416	1,495,749	1,388,251
基本金	14,705,676	14,665,028	13,766,895	13,861,215	13,792,601
繰越収支差額	△5,986,868	△6,207,804	△5,583,688	△6,048,996	△6,447,619
純資産の部合計	8,718,808	8,457,224	8,183,207	7,812,219	7,344,982
負債及び純資産 の部合計	10,324,413	10,142,713	9,849,622	9,307,968	8,733,233

イ) 財務比率の経年比較

・運用資産余裕比率、流動比率、総負債比率、前受金保有率、基本金比率、積立率

(単位: %)

比 率	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
運用資産余裕比率(年)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.05
流動比率	242.1	183.9	180.5	183.0	183.3
総負債比率	15.6	16.6	16.9	16.1	15.9
前受金保有率	293.8	311.5	340.2	302.1	302.8
基本金比率	96.5	96.6	96.8	97.2	97.5
積立率	18.9	19.2	18.2	13.9	8.9

* 小数第2位を四捨五入

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位: 千円)

収入の部	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
学生生徒等納付金収入	1,610,995	1,564,522	1,512,791	1,399,916	1,270,004
手数料収入	20,281	15,080	18,869	14,237	17,408
寄付金収入	28,630	16,602	18,814	24,988	46,422
補助金収入	511,824	470,878	454,063	390,315	353,152
資産売却収入	34,118	84,190	60,585	0	179,386
付随事業・収益事業収入	58,689	43,073	35,263	42,004	42,848
受取利息・配当金収入	4,391	5,942	5,337	5,611	4,581
雑収入	124,636	118,240	179,838	109,392	190,175
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	191,654	195,279	182,820	172,350	169,215
その他の収入	395,339	113,406	205,230	308,284	216,736
資金収入調整勘定	△341,788	△294,040	△345,561	△246,359	△202,009
前年度繰越支払資金	552,651	563,099	608,256	621,871	520,664
収入の部合計	3,191,420	2,896,270	2,936,306	2,842,608	2,808,583

支出の部	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
人件費支出	1,500,956	1,453,608	1,475,402	1,387,891	1,437,122
教育研究経費支出	548,999	566,940	569,110	541,479	540,672
管理経費支出	248,571	192,543	201,144	181,678	191,813
借入金等利息支出	3,111	2,860	2,633	2,348	2,855

借入金等返済支出	123,100	44,100	44,100	44,100	44,100
施設関係支出	97,064	26,044	21,553	26,396	5,697
設備関係支出	37,899	44,544	34,162	29,153	12,583
資産運用支出	50,000	78,866	15,000	0	0
その他の支出	49,039	32,279	144,447	202,319	121,493
資金支出調整勘定	△30,419	△153,772	△193,115	△93,420	△60,173
翌年度繰越支払資金	563,099	608,256	621,871	520,664	512,423
支出の部合計	3,191,420	2,896,270	2,936,306	2,842,608	2,808,583

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	2,344,769	2,227,530	2,216,268	1,977,435	1,919,470
	教育活動資金支出計	2,298,527	2,213,091	2,245,656	2,111,049	2,169,606
	差引	46,242	14,439	△29,388	△133,613	△250,136
	調整勘定等	△13,476	102,605	△5,699	△18,054	△3,550
	教育活動資金収支差額	32,766	117,043	△35,086	△151,667	△253,686
施設整備等活動による資金収支						
	施設整備等活動資金収入計	214,404	6,055	3,955	157,570	100,570
	施設整備等活動資金支出計	134,963	149,455	55,715	55,549	18,280
	差引	79,441	△143,400	△51,760	102,021	82,290
	調整勘定等	△6,736	25,230	△3,097	△10,584	△10,560
	施設整備等活動資金収支差額	72,705	△118,170	△54,857	91,438	71,730
小計（教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額		105,470	△1,127	△89,943	△60,229	△181,956
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	96,362	94,824	169,327	10,014	237,376
	その他の活動資金支出計	191,384	48,540	65,770	50,991	63,662
	差引	△95,022	46,284	103,558	△40,976	173,714
	調整勘定等	0	0	0	0	0
	その他の活動資金収支差					

	額	△95,022	46,284	103,558	△40,977	173,714
支払資金の増減額	(小計 + その他の活動資金収支差 額)	10,448	45,157	13,614	△101,206	△8,242
前年度繰越支払資金		552,651	563,099	608,256	621,871	520,664
翌年度繰越支払資金		563,099	608,256	621,871	520,664	512,423

ウ) 財務比率の経年比較

・教育活動資金収支差額比率

(単位：％)

比 率	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
教育活動資金収支差額比率	1.4	5.3	△1.6	△7.1	△13.2

*小数第2位を四捨五入

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,610,995	1,564,522	1,512,791	1,399,917	1,270,004
	手数料	20,495	15,312	19,076	14,362	17,515
	寄付金	28,136	16,678	18,692	24,284	47,507
	経常費等補助金	502,609	470,878	451,453	390,315	353,152
	付随事業収入	58,689	43,073	35,263	42,004	42,848
	雑収入	107,326	116,962	159,993	75,485	146,448
	教育活動収入計	2,328,250	2,227,425	2,197,270	1,946,366	1,877,475
	事業活動支出の部					
	人件費	1,467,617	1,444,961	1,442,806	1,345,848	1,380,471
	教育研究経費	773,294	786,990	783,898	755,926	735,054
	管理経費	305,684	248,474	251,776	219,119	228,880
	徴収不能額等	1,290	786	567	1,279	537
	教育活動支出計	2,547,885	2,481,211	2,479,047	2,322,171	2,344,942
	教育活動収支差額	△219,635	△253,786	△281,777	△375,805	△467,467
教育	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	4,790	6,341	5,735	5,771	4,655

活動外収支	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	4,790	6,341	5,735	5,771	4,655
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	3,111	2,860	2,633	2,348	2,855
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	3,111	2,860	2,633	2,348	2,855
	教育活動外収支差額	1,679	3,481	3,103	3,423	1,800
経常収支差額		△217,956	△250,305	△278,675	△372,381	△465,667
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	3,724	1,410	3,337	0	1,197
	その他の特別収入	12,961	3,451	6,252	4,505	2,628
	特別収入計	16,685	4,861	9,588	4,505	3,825
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	30,363	16,140	4,931	3,111	5,395
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	30,363	16,140	4,931	3,111	5,395
	特別収支差額	△13,678	△11,279	4,658	1,394	△1,570
	基本金組入前当年度収支差額	△231,635	△261,584	△274,017	△370,988	△467,237
基本金組入額合計		△214,276	△37,807	△70,768	△94,320	0
当年度収支差額		△445,911	△299,391	△344,785	△465,308	△467,237
前年度繰越収支差額		△5,541,090	△5,986,868	△6,207,804	△5,583,688	△6,048,996
基本金取崩額		133	78,455	968,901	0	68,615
翌年度繰越収支差額		△5,986,868	△6,207,804	△5,583,688	△6,048,996	△6,447,619

(参考)

事業活動収入計	2,349,725	2,238,627	2,212,593	1,956,643	1,885,955
事業活動支出計	2,581,360	2,500,211	2,486,611	2,327,630	2,353,192

イ) 財務比率の経年比較

・人件費比率、教育研究経費比率、管理経費比率、事業活動収支差額比率、学生生徒等納付金比率、経常収支差額比率

(単位：%)

比 率	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
人件費比率	62.9	64.7	65.5	68.9	73.3

教育研究経費比率	33.1	35.2	35.6	38.7	39.1
管理経費比率	13.1	11.1	11.4	11.2	12.2
事業活動収支差額比率	△9.9	△11.7	△12.4	△19.0	△24.8
学生生徒等納付金比率	69.1	70.0	68.7	71.7	67.5
経常収支差額比率	△9.3	△11.2	△12.6	△19.1	△24.7

(2) その他

①有価証券の状況

- ・種類、貸借対照表計上額、時価、差額

(単位：千円)

種 類	当 年 度 (2025 年 3 月 31 日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	0	0	0
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	110,000	83,874	△26,126
(うち満期保有目的の債券)	(110,000)	(83,874)	(△26,126)
合 計	110,000	83,874	△26,126
(うち満期保有目的の債券)	(110,000)	(83,874)	(△26,126)
時価のない有価証券	5,000		
有価証券合計	115,000		

②借入金の状況

- ・借入先、期末残高、返済期限

(単位：千円)

借入先	期末残高	返済期限
十八親和銀行	162,500	2031(令和13)年4月30日
	112,050	2038(令和20)年4月30日
	127,600	2039(令和21)年4月30日
長崎銀行	31,000	2040(令和22)年2月25日
合計	433,150	

③学校債の状況

該当なし

④寄付金の状況

(単位：千円)

特別寄付金	一般寄付金
45,319	1,103

⑤補助金の状況

(単位：千円)

国庫補助金	地方公共団体補助金
207,457	145,695

⑥関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当なし

イ) 出資会社

・会社の名称、事業内容、資本金等、出資割合、取引の内容、役員の兼任・報酬の有無

名 称	株式会社 活水サービス			
事 業 内 容	教材、書籍などの印刷・出版並びに販売、建物の保守管理・修繕・清掃業務の委託			
資 本 金	5,000,000 円 5 株			
学校法人の出資状況	5,000,000 円 5 株 総株式に占める割合 100%			
出 資 の 状 況	平成 20 年 4 月 1 日 5,000,000 円 5 株			
当期中に学校法人 が受け入れた配当 及び寄附の金額並 びに学校法人との 資金、取引等の状況	(単位：円)			
	当該会社か らの受入額	賃 貸 料	120,000	
		光 熱 水 費	261,995	
		印 刷 費	2,440	
	当該会社への支払額		委託手数料等	84,051,661
		期首残高	資金支出等	資金収入等
	当該会社へ の出資金等	5,000,000	0	0
保 証 債 務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

(注) 役員の兼任 (4 名) の報酬無

⑦学校法人間財務取引

該当なし

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

2022 年度からスタートした「学校法人活水学院中期計画」の 3 年目の年。

財務上の到達目標として

- ①活動区分資金収支計算書の教育活動資金収支差額において 2023 年度を除き 4 年間黒字。
- ②事業活動収支計算書の経常収支差額において計画の最終年度となる 2026 年度黒字化。
- ③貸借対照表の運用資産から借入金を控除した正味金融資産を 2026 年度までに 8 億まで積上げる。

上記、3つの目標を掲げたが、学生生徒数の減少を主要因に3項目ともに、目標に向けてはマイナスの方向に推移する結果となった。

計画3年目と2024年度決算の対比によると、事業活動収支計算書の教育活動収支差額では計画比2億5,596万円の減少、4億6,746万円の支払超過となり、経常収支差額では計画比2億5,445万円の減少、4億6,566万円の支払超過となった。いずれも計画比、支払超過幅は大きくなっている。

2024年度決算では少子化の煽りを受け、入学生減少に歯止めがかからず中学、高校、大学ともに過去最低の在 student 数となった。大学においては2年続けて定員8割を下回り、高校についても定員7割を割ることとなる厳しい結果となった。

しかし、直近の状況としては、2025年度より看護学部にて男女共学に取組み、4月には4名の男子学生が大村キャンパスに入学した。今後も厳しい環境は継続することと思われるが、選ばれる学校となるため、迅速な改革に着手し、学生・生徒の皆様にとってより良い環境づくりに教職員一丸となって取り組んでいく所存である。